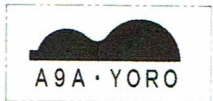


# PEACE GOURD



9条の会・養老  
会報、第23号  
2020年4月18日  
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

## 新型インフル特措法「改正」をめぐる論点整理

世話人 問山 尚義

現下の新型コロナウイルス肺炎の感染予防のため、予定していた本会の第5回の総会を中止せざるを得なくなりました。開催予定の29日の間際になって公民館からの中止要請を受け、急遽世話人会で協議して電話メール等で緊急連絡に至った次第です。総会の代替企画については現時点で未定です。

ところでこの問題に関して、旧民主党政権下の2012年4月に成立した「新型インフルエンザ対策特別措置法」を改正して、今回の新型コロナウイルス肺炎にも適用したいという与党側の提案があり、去る3月13日に10時間にも満たないスピード審議でこの改正法が成立しました。

この件について各方面から反対の声が上がりましたが、自分なりに可能な範囲で「声明」等を調べて、緊急事態宣言を中心に何が問題視されているかを整理してみました。

尚、国会対応は●賛成：自民、公明、維新、国民、立民、社民 ●反対：共産、れいわ

- ◆私権制限への歯止めがあいまいである。無制限の恐れ。
- ◆緊急事態宣言の導入・離脱条件が不明瞭。国会と専門家の関与を。
- ◆現行法で出来ることさえやっていない。
- ◆既に実質的に特措法が適用されており、法改正の立法事実がない。
- ◆旧特措法のまま適用可能であり改正の必要は無い。
- ◆審議があまりに拙速である。
- ◆報道機関、特にNHKへの政権の介入を可能にしている。
- ◆憲法に「緊急事態条項」を書き込むための償らしではないか？
- ◆危機に便乗した火事場泥棒？
- ◆「緊急事態宣言」そのものを絶対悪とする論調は少ない。

・・・ 参考にした声明や社説 ・・・

新型コロナウイルス対策のための特措法改正に反対する緊急声明	法律家、法律研究者有志	3月9日
市民の自由や集会・報道の自由を脅かす新型コロナ対策特別措置法に反対する	日本マスコミ文化情報労組会議	3月10日
新型コロナウイルス対策のための新型インフルエンザ特措法改正に反対する声明	日本消費者連盟	3月11日
新型コロナウイルス対策に関する憲法研究者有志一同の声明	憲法研究者有志	3月11日
「信教の自由」を侵害する新型コロナ対策のための特措法改正に反対する宗教者緊急声明	憲法9条を守り平和を愛する宗教者有志	3月13日

中日新聞社説(3月14日付)、朝日新聞社説(3月12日付)、しんぶん赤旗主張(3月12日付)、週刊金曜日(3月27日号、清水愛砂氏《憲法学》論文)



♪♪ 戦後は続くよ どこまでも ♪♪